

学校教育目標	『学校大好き このまち大好き 杉田っ子』				
	【知】自ら考え、意欲的に学び続ける子どもを育てます。 【徳】自分を大切に、相手の気持ちを考えることができる子どもを育てます。 【体】体力づくりを通じ、心身ともにたくましく生きる子どもを育てます。 【公】横浜や杉田を誇りに思い、地域や社会と共に歩む子どもを育てます。 【開】自分を見つめ、自ら未来をひらこうとする子どもを育てます。				
学校概要	創立 148 周年	学校長 若色昌孝	副校長 諏訪部民子	3 学期制	一般学級: 19 個別支援学級: 5
	児童生徒数: 665 人	主な関係校: ○浜中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	浜中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
◎「自分づくり」に関する力 ・自分で考える力 ・向上心 ・相手意識	・浜中学校 ・杉田小学校 ・梅林小学校 ・さわの里小学校	○「まち」とともに生きる力をもつ子ども ○基本的な生活習慣を確立し、規範意識をもつ子ども ・授業参観、教職員交流、地域行事参加などを通して、教職員並びに子どもとの交流を大切に、互いに情報交換しながら、同じ「まち」に生きる子どもの育成に努める。(年4回の四校会、月に1回の専任会、年1回の授業交流) ・小中一貫の視点からつながりを見出し、「杉田っ子の約束(スタンダード)」を見直したり、児童・生徒指導に共通の指導方針をもって取り組んだりする。

中期取組目標	○信頼関係をすべての教育活動の基盤とし、子どもが安心・安全で過ごし、「まち」とともに歩む学校を目指します。 ・生活科・杉田の時間を学級経営の核とし、子どもが学ぶ楽しさを実感でき、表現力を大切に学力の向上を図ります。 ・一人ひとりの思いや願いを大切に、また、自信をもって行動できるようにし、子どもの自尊感情を育みます。 (特別支援教育、国際教室の運営などを個のニーズに合わせて行います。児童理解も丁寧に取り組めます。) ・基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な日々を送れるようにします。 ・豊かな体験と人とのかかわりを通して、「まち」とともに生きる子どもを育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b> 担当 佐久間	①重点研テーマを「意欲的に学び、ともに高めあう子どもの育成」とし、国語科を授業改善の核とし、音量揭示、話型指導、家庭学習の体系化に努め、言葉を通して人や物とかかわる力、表現する力を育てる。②話す必然性のある活動を取り入れ、思いや考えを伝えたり聞いたりできるようにする。
<b>豊かな心</b> 担当 鈴木	①挨拶を日常から全校で取り組み、よい姿を周知し、自ら挨拶できる児童を増やす。地域の方への挨拶もできるようにする。②人権を大切に、「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活が過ごせるように取り組む。③自己有用感が高まるように横浜プログラムの理念を取り入れた学習を展開する。
<b>健やかな体</b> 担当 松田	①長縄集会を2回開催する。②短縄を年間を通し取り組む。③体育科単元計画の作成をする。④体育科年間計画の作成し、各学年の学習での指導事項を明確にする。⑤体育時の約束(教師版・児童版)作成する。⑥体育備品一覧の作成する。
<b>地域連携</b> 担当 高木	①PTA活動、おやじの会等を通じた保護者とのつながり、登下校や学習の中での地域の方々とのつながりを大切にしていく。児童が「あいさつ」を通してまちづくりに参画できるよう、あいさつ運動に力を入れる。②年5回、学校運営協議会を開き、いただいたご意見を取り入れ、学校経営に生かしていく。
<b>特別支援教育</b> 担当 松本	①専任を中心にコーディネーターは連絡票をもとに、各学級の教育支援計画及び指導計画作成を呼びかける。②年間を通して個別指導を要する児童に対する支援を行う。③支援や配慮を要する児童に対し、支援内容や手続きなどを特別支援の手引きとして作成し研修や声掛けを適宜行う。
<b>児童指導</b> 担当 盛岡	①児童版、保護者版、指導者版の「杉田っ子の約束」を作成して全職員で内容を共有し、指導にあたる。②学期始めに、学年・クラスで「杉田っ子の約束」を確認し、年間を通して指導にあたる。③児童理解の打ち合わせを中心に、全職員で子どもたちの情報やクラスの状態を共有し、問題解決を図る。
<b>児童・学校評価</b> 担当 高木	①児童アンケートを実施して、児童理解を深め、職員同士で情報の分析を行う。その結果を共有し、その後の指導に生かせるようにする。②年3回、保護者アンケートを実施し、いただいた意見を生かしながら、学校運営の改善を図る。
担当	
<b>いじめへの対応</b> 担当 盛岡	①いじめをしない、させない、見逃さないために、報告、連絡、相談を密にする。②いじめ認知した際、学校と家庭とで対応にあたる。③月1回いじめ対策防止委員会を開き、組織的、積極的に取り組む。④横浜プログラムを計画的に行う。⑤人権・道徳・情報モラル教育を全教育活動を通して行う。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 高木	①杉田塾を組織する。授業研や月1回の研修を通して授業力・指導力・人間力を高めていく。②各キャリアに応じた研修に積極的に参加する。③研修内容を職員全体で共有する。④校長のリーダーシップの下、各分掌がすべきことを把握し、責任をもって役割を果たせるようにする。